

令和8年度 園経営計画 足立区立あやせ保育園

園長 石原 雅子

1 園の経営目標

- (1) 一人一人の子どもを大切に、笑顔あふれる園生活を通して、「心も体も元気な子ども」「仲良く遊べる子ども」「感性と創造力豊かな子ども」を育てる。
- (2) 家庭や地域と連携し信頼を育み、それを基盤に地域の子育て支援の拠点として役割を果たす。
- (3) 豊かな愛情と専門性を持ち、子どもの最善の利益に配慮した質の高い保育を実践する。

2 園の現状

- (1) 子どもは、身近な大人の愛情に支えられ、好きな遊びを見つけて夢中で遊んでいる。時期や年齢に応じて、園庭、公園、近隣保育園等、戸外で遊ぶことを好み喜ぶ姿がある。
- (2) 保育者は、子どもの気持ちに共感し、子どもの心に寄り添った対応を心がけている。また、子どもの「やってみたい」を実現するため、環境構成の工夫と見直しを行っている。
- (3) 保護者や地域の方々には、園の保育・教育内容への理解と様々な協力をいただいている。特に、保護者の方が持つ専門性を活かして『ゲストティーチャー』として保育参画している。

3 今年度の重点的項目

重点的に取り組んでいきたい事項-1	子どもがどんな時も「自分を大切な存在である」と感じ、安心して自己発揮できる環境をつくる。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 人権尊重の精神に基づいた関わりをする。	ア その子らしさを受容し、子どもの話をゆっくり丁寧に最後まで聞き、肯定的な言葉や態度で関わる。 イ 「あなたはどうしたい?」と問いかけ、子どもの表情や行動などに表れる声なき声も丁寧に読み取っていく。
(2) 愛着形成の確立に向けた取組について理解を深める。	ア どんな時も子どもが安心して自分の思いを表現できる関係を築くとともに、相手の思いに気づける援助をする。 イ 子どもとの日々のやりとりこそ「主体性の尊重」があると実感できる保育の振り返りをしていく。
重点的に取り組んでいきたい事項-2	主体的に環境にかかわり、心と体を動かして夢中になって遊ぶ子どもを育てる。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 子どもと「対話」することを大事にしながら、保育を深めていく。	ア 子ども自身が感じ、考え、対話をとおして試行錯誤できる時間と空間を保障する。 イ 子どもの様々な表現や発想を一緒に楽しんだり、面白がったりしながら、保育を展開していく。
(2) 多面的に子どもの姿を読み取り、「やりたい」「やってみたい」の意欲を引き出す環境をつくる。	ア 身の回りの人・もの・コトと子どもたちの関係(つながり)が豊かになる環境づくりやかかわり方を考えていく。(園内研修)
重点的に取り組んでいきたい事項-3	子どもの豊かな遊びと体験が積み重なっていく保育を実践する。
具体的な取り組み	
項目	具体的な内容
(1) 自然環境を整備し、季節を感じたり生き物に触れたりする。	ア 自然物を使った遊びに必要な遊具の充実と環境の整備をする。子どもたちの遊びや行動を「驚きと共感」をもって接し、子どもの視点で考えていくという姿勢を貫く。
(2) 音楽活動のさらなる充実を図り感性を養っていく。	ア トーンチャイムやピアニスト等、音楽家の本物の音を体感したり、音を感じて表現したり、豊かな感性につなげる。